

野田市水道事業運営審議会次第

日時 令和4年8月9日（火）

午後1時30分から

場所 野田市水道部お客様センター2階会議室

1. 開会のことば

2. 水道事業管理者挨拶

3. 議題

(1) 会長及び副会長の選出について

(2) 令和3年度野田市水道事業会計決算概要について

(3) 「未来構想 水道ビジョン 野田（経営戦略）」の進捗状況について

4. 閉会のことば

令和 3 年 度

野 田 市 水 道 事 業 会 計 決 算 概 要 書

野 田 市 水 道 部

事業収入に関する事項

(単位：円、%)

科 目	令和3年度	令和2年度	比 較	
			増 減	対前年度比
営業収益	2,660,741,950	2,669,211,004	△ 8,469,054	99.7
給水収益	2,588,037,375	2,583,060,490	4,976,885	100.2
受託工事収益	5,883,900	24,750,000	△ 18,866,100	23.8
他会計負担金	6,070,000	3,190,000	2,880,000	190.3
その他営業収益	60,750,675	58,210,514	2,540,161	104.4
営業外収益	609,357,395	570,767,974	38,589,421	106.8
給水申込納付金	229,761,000	186,649,000	43,112,000	123.1
他会計補助金	212,560,260	209,325,400	3,234,860	101.5
長期前受金戻入	166,150,612	170,658,289	△ 4,507,677	97.4
雑収益	885,523	4,135,285	△ 3,249,762	21.4
合 計	3,270,099,345	3,239,978,978	30,120,367	100.9

金額は、消費税及び地方消費税抜きとなっています。

事業費用に関する事項

(単位：円、%)

科 目	令和3年度	令和2年度	比 較	
			増 減	対前年度比
営業費用	2,671,380,454	2,683,149,369	△ 11,768,915	99.6
原水及び浄水費	1,223,663,906	1,234,908,741	△ 11,244,835	99.1
配水及び給水費	172,990,995	174,429,932	△ 1,438,937	99.2
受託工事費	5,349,000	22,500,000	△ 17,151,000	23.8
業務費	149,204,616	147,902,007	1,302,609	100.9
総係費	137,353,722	129,339,150	8,014,572	106.2
減価償却費	959,590,289	939,810,172	19,780,117	102.1
資産減耗費	23,227,926	34,259,367	△ 11,031,441	67.8
営業外費用	38,524,608	51,780,531	△ 13,255,923	74.4
支払利息及び 企業債取扱諸費	38,431,567	51,412,409	△ 12,980,842	74.8
雑支出	93,041	368,122	△ 275,081	25.3
特別損失	28,645	117,725	△ 89,080	24.3
過年度損益修正損	28,645	117,725	△ 89,080	24.3
合 計	2,709,933,707	2,735,047,625	△ 25,113,918	99.1

金額は、消費税及び地方消費税抜きとなっています。

資本的収入に関する事項

(単位：円、%)

科 目	令和3年度	令和2年度	比 較	
			増 減	対前年度比
工事寄附負担金	0	2,351,800	△ 2,351,800	皆減
工事寄附負担金	0	2,351,800	△ 2,351,800	皆減
他会計負担金	4,240,000	8,739,000	△ 4,499,000	48.5
他会計負担金	4,240,000	8,739,000	△ 4,499,000	48.5
合 計	4,240,000	11,090,800	△ 6,850,800	38.2

金額は、消費税及び地方消費税抜きとなっています。

資本的支出に関する事項

(単位：円、%)

科 目	令和3年度	令和2年度	比 較	
			増 減	対前年度比
建設改良費	714,859,999	804,840,101	△ 89,980,102	88.8
水道施設費	712,416,554	802,866,126	△ 90,449,572	88.7
水道メーター費	2,443,445	1,973,975	469,470	123.8
拡張事業費	283,427,421	500,038,232	△ 216,610,811	56.7
水道施設費	215,539,700	438,280,000	△ 222,740,300	49.2
事務費	67,887,721	61,758,232	6,129,489	109.9
資産取得費	6,686,991	23,850,675	△ 17,163,684	28.0
固定資産購入費	6,686,991	23,850,675	△ 17,163,684	28.0
企業債償還金	316,363,967	344,397,544	△ 28,033,577	91.9
企業債償還金	316,363,967	344,397,544	△ 28,033,577	91.9
合 計	1,321,338,378	1,673,126,552	△ 351,788,174	79.0

金額は、消費税及び地方消費税抜きとなっています。

企業債の概況

(単位：円)

種 類	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
政 府 債	1,032,216,885	0	264,129,454	768,087,431
機 構 債	172,253,089	0	52,234,513	120,018,576
合 計	1,204,469,974		316,363,967	888,106,007

令和３年度 野田市水道事業損益計算書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

1	営業収益			
	(1) 給水収益	2,588,037,375		
	(2) 受託工事収益	5,883,900		
	(3) 他会計負担金	6,070,000		
	(4) その他営業収益	<u>60,750,675</u>	2,660,741,950	
2	営業費用			
	(1) 原水及び浄水費	1,223,663,906		
	(2) 配水及び給水費	172,990,995		
	(3) 受託工事費	5,349,000		
	(4) 業務費	149,204,616		
	(5) 総係費	137,353,722		
	(6) 減価償却費	959,590,289		
	(7) 資産減耗費	<u>23,227,926</u>	<u>2,671,380,454</u>	
	営業損失			10,638,504
3	営業外収益			
	(1) 給水申込納付金	229,761,000		
	(2) 他会計補助金	212,560,260		
	(3) 長期前受金戻入	166,150,612		
	(4) 雑収益	<u>885,523</u>	609,357,395	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	38,431,567		
	(2) 雑支出	<u>93,041</u>	<u>38,524,608</u>	<u>570,832,787</u>
	経常利益			560,194,283
5	特別損失			
	(1) 過年度損益修正損	<u>28,645</u>	<u>28,645</u>	<u>△ 28,645</u>
	当年度純利益			560,165,638
	前年度繰越利益剰余金			0
	その他未処分利益剰余金変動額			<u>293,640,120</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>853,805,758</u></u>

令和 3 年度 野田市水道事業剰余金処分計算書

(単位：円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	19,618,079,145	454,626,002	853,805,758
野田市水道事業の設置等に関する条例 第 4 条による処分額	459,790,732	0	△ 853,805,758
資本金への組入（積立金の取崩し）	293,640,120	0	△ 293,640,120
資本金への組入（長期前受金収益化）	166,150,612	0	△ 166,150,612
減債積立金の積立	0	0	△ 205,959,999
建設改良積立金の積立	0	0	△ 188,055,027
処分後残高	20,077,869,877	454,626,002	(繰越利益剰余金) 0

令和3年度 野田市水道事業貸借対照表
(令和4年3月31日)

(単位：円)

資 産 の 部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土 地		1,638,829,131	
ロ 建 物	2,563,626,162		
減価償却累計額	<u>△ 1,465,735,281</u>	1,097,890,881	
ハ 構 築 物	34,536,363,805		
減価償却累計額	<u>△ 18,322,745,533</u>	16,213,618,272	
ニ 機械及び装置	8,071,940,853		
減価償却累計額	<u>△ 5,414,543,699</u>	2,657,397,154	
ホ 車両運搬具	50,282,223		
減価償却累計額	<u>△ 32,203,686</u>	18,078,537	
ヘ 工具、器具及び備品	82,454,718		
減価償却累計額	<u>△ 65,176,132</u>	17,278,586	
ト 建設仮勘定		<u>138,573,000</u>	
有形固定資産合計			21,781,665,561

(2) 無形固定資産

イ 電話加入権	<u>1,390,360</u>		
ロ その他無形固定資産	<u>2,084,000</u>		
無形固定資産合計			3,474,360

(3) 投資その他の資産

イ 出 資 金	<u>1,150,000</u>		
投資その他の資産合計		<u>1,150,000</u>	
固定資産合計			21,786,289,921

2 流動資産

(1) 現金・預金		5,093,301,001	
(2) 未 収 金	249,940,147		
未収金貸倒引当金	<u>△ 2,398,714</u>	247,541,433	
(3) 貯 蔵 品		6,836,893	
流動資産合計			<u>5,347,679,327</u>
資産合計			<u><u>27,133,969,248</u></u>

(単位：円)

負 債 の 部

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に

充てるための企業債

568,048,622

企業債合計

568,048,622

(2) 引当金

イ 退職給付引当金

227,145,411

引当金合計

227,145,411

固定負債合計

795,194,033

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に

充てるための企業債

320,057,385

企業債合計

320,057,385

(2) 未払金

185,264,233

(3) 引当金

イ 賞与引当金

18,886,215

ロ 修繕引当金

4,291,526

引当金合計

23,177,741

(4) その他流動負債

イ 下水道預り金

161,570,919

ロ 預り諸税等

979,085

ハ 預り保証金

2,929,000

ニ 過誤納預り金

577,895

その他流動負債合計

166,056,899

流動負債合計

694,556,258

5 繰延収益

(1) 長期前受金

イ 補助金

1,529,979,536

ロ 他会計負担金

636,717,505

ハ 受贈財産評価額

4,692,407,039

ニ 工事寄附負担金

3,166,560,422

ホ その他長期前受金

17,534,458

長期前受金合計

10,043,198,960

(2) 長期前受金収益化累計額

△ 6,334,765,810

繰延収益合計

3,708,433,150

負債合計

5,198,183,441

資 本 の 部

6	資本金			19,618,079,145
7	剰余金			
	(1) 資本剰余金			
	イ 補助金	31,257,516		
	ロ 他会計負担金	70,200,476		
	ハ 受贈財産評価額	275,615,943		
	ニ 工事寄附負担金	73,788,331		
	ホ その他資本剰余金	<u>3,763,736</u>		
	資本剰余金合計		454,626,002	
	(2) 利益剰余金			
	イ 減債積立金	334,273,064		
	ロ 利益積立金	530,000,000		
	ハ 建設改良積立金	145,001,838		
	ニ 当年度未処分利益剰余金	<u>853,805,758</u>		
	利益剰余金合計		<u>1,863,080,660</u>	
	剰余金合計			2,317,706,662
	資本合計			<u>21,935,785,807</u>
	負債資本合計			<u><u>27,133,969,248</u></u>

業務量

区 分		単位	令和3年度	令和2年度	比 較	
					増 減	対前年度比
給 水 人 口 等	行政区域内人口	人	153, 529	153, 993	△ 464	99. 7
	計画給水人口	人	165, 230	165, 230	0	100. 0
	給水人口	人	149, 391	149, 862	△ 471	99. 7
	給水件数	件	62, 126	61, 270	856	101. 4
	普及率	行政区域内人口比	% 97. 3	97. 3	0	—
		計画給水人口比	% 90. 4	90. 7	△ 0. 3	—
給 水 量	年間給水量	m ³	15, 173, 465	15, 235, 239	△ 61, 774	99. 6
	一日最大給水量	m ³	45, 284	46, 067	△ 783	98. 3
	一日平均給水量	m ³	41, 571	41, 740	△ 169	99. 6
	一人一日最大給水量	ℓ	303	307	△ 4	98. 7
	一人一日平均給水量	ℓ	278	279	△ 1	99. 6
有 収 水 量	年間有収水量	m ³	14, 568, 905	14, 600, 385	△ 31, 480	99. 8
	家庭用	m ³	12, 009, 746	12, 063, 394	△ 53, 648	99. 6
	工場用	m ³	605, 446	633, 907	△ 28, 461	95. 5
	その他	m ³	1, 953, 713	1, 903, 084	50, 629	102. 7
	有収率	%	96. 0	95. 8	0. 2	—

工 事

(1) 拡張工事の概況 (1件1,000万円以上)

(単位:円)

工 事 名	金 額	着工年月日	竣工年月日	施 工 内 容
山崎配水管布設工事	10,961,500	R3. 6. 30	R3. 11. 15	山崎1086～みずき一丁目35番地先 工事延長173.66m HPPE口径50mm～75mm 仕切弁5基
五木配水管布設工事	12,650,000	R3. 6. 30	R3. 9. 30	五木134～同405番地先 工事延長297.70m HPPE口径50mm 仕切弁2基
三ツ堀配水管布設工事	17,460,300	R3. 8. 4	R3. 11. 30	三ツ堀998～同1055番地先 工事延長331.49m HPPE口径50mm 仕切弁2基
二ツ塚配水管布設工事	52,250,000	R3. 9. 4	R4. 2. 28	二ツ塚97～上三ヶ尾259番地先 工事延長462.72m GX口径150mm 仕切弁2基 消火栓2基
横内配水管布設工事	47,377,000	R3. 9. 4	R4. 3. 15	横内82～宮崎171番地先 工事延長815.39m HPPE口径50mm～100mm 仕切弁7基
目吹配水管布設工事	16,390,000	R3. 10. 5	R3. 12. 8	目吹2294～同2303番地先 工事延長130.88m GX口径150mm 1

(2) 建設改良工事の概況 (1件1,000万円以上)

(単位:円)

工 事 名	金 額	着工年月日	竣工年月日	施 工 内 容
中根配水場 盛土工事	51,967,300	R3. 4. 29	R3. 10. 25	中根324番地 盛土工事3,700m ³ ・擁壁工・フェンス仮設工253m
東金野井浄水場 前次亜注入設備更新工事	21,450,000	R3. 5. 29	R3. 11. 1	東金野井850番地の1 前次亜注入機・次亜操作盤・次亜貯留槽
中根配水場 監視制御盤内機器更新工事	23,100,000	R3. 5. 29	施工中	中根324番地 コントローラ盤(2)・コントローラ盤機能増設 監視制御盤(ミニグラフィック)機能増設
木間ヶ瀬浄水場 監視カメラ更新工事	40,150,000	R3. 8. 4	R4. 3. 10	木間ヶ瀬2073番地 他 カメラ制御盤・監視装置・屋外カメラ・屋内カメラ
木間ヶ瀬浄水場 動力設備更新工事	63,580,000	R3. 8. 4	R4. 3. 15	木間ヶ瀬2073番地 2系引込盤・事務所棟低圧送り盤・5～8号配水ポンプ盤機能増設 6号配水ポンプインバータ・アクティブフィルタ盤機能増設
中根配水場 No.5 配水ポンプ更新工事	44,550,000	R3. 8. 4	R4. 3. 20	中根324番地 No.5配水ポンプ・No.5電動吐出弁・No.5逆止弁
木間ヶ瀬浄水場 No.8 配水ポンプ更新工事	23,301,300	R3. 9. 4	R4. 3. 20	木間ヶ瀬2073番地 No.8配水ポンプ・No.8電動機・No.8電動吐出弁・No.8逆止弁
桐ヶ作配水場 No.2 配水ポンプ更新工事	17,600,000	R3. 9. 4	R4. 3. 20	桐ヶ作1266番地1 No.2配水ポンプ・No.2電動機・逆止弁 (No.1、2)
木間ヶ瀬浄水場 次亜注入設備更新工事	60,830,000	R3. 9. 4	R4. 3. 23	木間ヶ瀬2073番地 次亜注入ユニット・次亜貯留槽 (No.1、2) ・制御盤
東金野井浄水場 No.4 配水ポンプ設備更新工事	121,544,500	R3. 9. 4	R4. 3. 23	東金野井850番地の1 No.4配水ポンプ・No.4配水ポンプ盤・No.4配水ポンプ現場盤 監視装置機能増設・シーケンサ盤及びローカル計装盤機能増設

工 事 名	金 額	着工年月日	竣工年月日	施 工 内 容
上花輪新町配水管布設替工事	85,933,100	R3. 9. 4	R4. 3. 23	上花輪新町16～同35番地先 工事延長582.54m GX口径75mm～200mm HPPE口径50mm～75mm 仕切弁16基 消火栓2基
東金野井導水管布設替工事	33,660,000	R3. 10. 5	R4. 3. 14	東金野井821～同850番地先 工事延長408.84m GX口径75mm～300mm 仕切弁5基
野田配水管布設替工事	16,500,000	R3. 11. 3	R4. 2. 18	野田289～同312番地先 工事延長116.09m HPPE口径75mm 仕切弁1基 消火栓1基
中根配水管布設替工事	26,400,000	R3. 11. 11	R4. 3. 15	中根170～同184番地先 工事延長320.85m HPPE口径50mm～75mm 仕切弁7基
春日町及び五木新町仕切弁設置工事	30,030,000	R3. 11. 11	R4. 3. 8	春日町地先及び五木新町地先 仕切弁29基

「未来構想 水道ビジョン 野田（経営戦略）」
の進捗状況

具体的な取組 安全27項目、持続50項目、強靱25項目 合計102項目				
評価	評価	○：実施済 85項目 ☆：計画変更 7項目 ×：未実施、事業中止 0項目 △：コロナにより中止 5項目 ※：努力を要する 1項目 ―：当年度該当なし 4項目 合計102項目		
		主要施策	具体的な取組	R3
安全	(1) 水質管理体制の強化	① 水源水質の監視	同水系流域の関係機関等との情報共有	△
安全	(1) 水質管理体制の強化	① 水源水質の監視	北千葉広域水道企業団との連絡体制の強化	○
安全	(1) 水質管理体制の強化	② 水質検査の充実と強化	水質検査の充実	○
安全	(1) 水質管理体制の強化	② 水質検査の充実と強化	水質検査協力体制の強化	○
安全	(1) 水質管理体制の強化	② 水質検査の充実と強化	水質検査機器の整備	○
安全	(1) 水質管理体制の強化	③ 安全でおいしい水の供給持続	おいしい水づくり計画	※
安全	(1) 水質管理体制の強化	④ トリハロメタン低減化対策	浄水処理用薬品の改善による江戸川原水の有機物除去率の向上	○
安全	(1) 水質管理体制の強化	④ トリハロメタン低減化対策	中間塩素処理による塩素注入率の低減化	○
安全	(1) 水質管理体制の強化	④ トリハロメタン低減化対策	トリハロメタン低減化の実施	○
安全	(1) 水質管理体制の強化	④ トリハロメタン低減化対策	ドレン作業等によるトリハロメタンの低減化対策	○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑤ 水安全計画の適切な運用	水安全計画の運用	○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑤ 水安全計画の適切な運用	水安全計画の見直し	○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑥ 安全で良質な水質の確保	水道末端水質の管理	○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑥ 安全で良質な水質の確保	行き止まり管路の水質向上策の強化	○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑥ 安全で良質な水質の確保	計画的な洗管作業による水質向上策の強化	○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑦ 分かりやすい水質情報の提供	水質検査計画の策定と公表、水質検査結果の公表	○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑧ 給水装置工事施行基準の周知徹底	野田市給水装置工事施行基準に基づいた施工業者への指導	○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑧ 給水装置工事施行基準の周知徹底	指定給水装置工事事業者に対する定期的な研修会の開催	○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑧ 給水装置工事施行基準の周知徹底	指定給水装置工事事業者の登録情報の提供	○
安全	(2) 適切な水源保全の推進	⑨ 受水量割合増加の検討	北千葉受水量増量の検討	○
安全	(2) 適切な水源保全の推進	⑨ 受水量割合増加の検討	上花輪浄水場の休止又は廃止時期の検討	☆
安全	(3) 安全対策の強化	⑩ セキュリティ対策の充実など	各種情報を中根配水場で一元管理	☆
安全	(3) 安全対策の強化	⑩ セキュリティ対策の充実など	セキュリティ管理の強化	―
安全	(3) 安全対策の強化	⑩ セキュリティ対策の充実など	運転管理の迅速化	☆
安全	(4) 小規模貯水槽水道の適正管理と直結給水方式の普及	⑪ 小規模貯水槽水道の適正管理	設置者や管理責任者への指導・助言の徹底	○
安全	(4) 小規模貯水槽水道の適正管理と直結給水方式の普及	⑫ 直結給水方式の普及、PR	直結給水方式への取組	○
安全	(4) 小規模貯水槽水道の適正管理と直結給水方式の普及	⑫ 直結給水方式の普及、PR	直結給水方式のPR	○
持続	(1) 短期推進計画による安定経営の推進	① 財政計画を機能強化した短期推進計画の策定	短期マネジメント計画の作成	○
持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	② 水道料金の継続的な検証	基本料金及び従量料金の検討	○
持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	③ 漏水防止対策と有収率の向上	効果的な漏水調査の実施	○
持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	③ 漏水防止対策と有収率の向上	老朽管布設替事業の推進による漏水防止対策	○

「未来構想 水道ビジョン 野田（経営戦略）」
の進捗状況

32	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	④ 未普及地域の解消と普及率の向上	水道接続促進の強化	○
33	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	④ 未普及地域の解消と普及率の向上	自家用井戸から水道への転換促進	△
34	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	④ 未普及地域の解消と普及率の向上	要望による配水管布設事業の継続実施	○
35	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	④ 未普及地域の解消と普及率の向上	要望による共同管布設事業の継続実施	○
36	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑤ 民間活力の推進	ワンストップサービスの検討	○
37	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑤ 民間活力の推進	デザインビルド方式の検討	○
38	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑥ 適正な資産管理	施設情報の電子データ化による資産管理の効率化	○
39	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑥ 適正な資産管理	アセットマネジメントの見直し及び施設整備計画の策定	○
40	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑥ 適正な資産管理	資産維持費に対する財源確保	○
41	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑦ 生活スタイルに合わせた給水形態の実現	1宅地に複数の給水管取り出しの周知	○
42	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑧ 水道事業運営の効率化等の推進に向けた調査・研究	スマートメーターに関する調査・研究	○
43	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑧ 水道事業運営の効率化等の推進に向けた調査・研究	効率性や経済性の高い新技術の調査・研究	○
44	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑨ 資産の有効活用	広告事業の検討	○
45	持続	(3) 安定水源の確保	⑩ 安定水源の確保	既存井戸の掘り替え可否の検討	○
46	持続	(3) 安定水源の確保	⑩ 安定水源の確保	新規井戸設置可否の検討	○
47	持続	(4) 水道施設の最適化	⑪ 浄水・配水場の統廃合等の検討	上花輪浄水場の休止又は廃止時期の検討（再掲 安全：主要施策⑨）	☆
48	持続	(4) 水道施設の最適化	⑪ 浄水・配水場の統廃合等の検討	配水池及び送配水設備等の整備	☆
49	持続	(4) 水道施設の最適化	⑪ 浄水・配水場の統廃合等の検討	上花輪浄水場の休止又は廃止による削減額の把握	○
50	持続	(4) 水道施設の最適化	⑪ 浄水・配水場の統廃合等の検討	浄水・配水場の統廃合の検討	☆
51	持続	(4) 水道施設の最適化	⑪ 浄水・配水場の統廃合等の検討	北千葉広域水道企業団用水受水地点の増加	☆
52	持続	(4) 水道施設の最適化	⑫ 管路のループ化の促進	ループ化整備箇所の優先順位の決定と整備促進	○
53	持続	(5) お客様サービスの充実	⑬ 広報活動の充実	イベント型広報の充実	○
54	持続	(5) お客様サービスの充実	⑬ 広報活動の充実	デジタルメディアによる各種情報発信の推進	○
55	持続	(5) お客様サービスの充実	⑬ 広報活動の充実	紙媒体による広報の充実	○
56	持続	(5) お客様サービスの充実	⑬ 広報活動の充実	災害時における情報発信力の強化	○
57	持続	(5) お客様サービスの充実	⑬ 広報活動の充実	積極的なPR活動の推進	○
58	持続	(5) お客様サービスの充実	⑭ 水道出前教室等の充実	出前教室等の充実	○
59	持続	(5) お客様サービスの充実	⑭ 水道出前教室等の充実	子供の作品コンクールの実施	○
60	持続	(5) お客様サービスの充実	⑮ お客様ニーズの把握	使用者モニター制度の検討	○
61	持続	(5) お客様サービスの充実	⑮ お客様ニーズの把握	アンケート調査の実施	△
62	持続	(5) お客様サービスの充実	⑮ お客様ニーズの把握	お客様が求めているサービス水準の把握	○
63	持続	(5) お客様サービスの充実	⑯ 幅広いサービスの推進	お客様サービスの向上	○
64	持続	(5) お客様サービスの充実	⑯ 幅広いサービスの推進	ワンストップサービスの検討（再掲 持続：主要施策⑤）	○
65	持続	(5) お客様サービスの充実	⑯ 幅広いサービスの推進	お客様センターとの連携の強化	○
66	持続	(6) お客様の利便性向上	⑰ 水道料金収納業務の効率化	口座振替、クレジットカード払い、LINE Payの利用拡大の普及促進	○
67	持続	(6) お客様の利便性向上	⑰ 水道料金収納業務の効率化	多様な納付方法の検討	○

「未来構想 水道ビジョン 野田（経営戦略）」
の進捗状況

68	持続	(6) お客様の利便性向上	⑱ インターネットによる各種申請・手続等の推進	開栓、閉栓、名義変更等の手続サービスの充実	○
69	持続	(6) お客様の利便性向上	⑱ インターネットによる各種申請・手続等の推進	使用水量、使用料金、契約内容等の閲覧サービスの検討	○
70	持続	(7) 人材育成と技術力の強化	⑲ 職員研修等の充実	各種講習会への積極的参加	△
71	持続	(7) 人材育成と技術力の強化	⑲ 職員研修等の充実	水質管理研修の実施	—
72	持続	(7) 人材育成と技術力の強化	⑲ 職員研修等の充実	人材育成と知識、技術の継承	○
73	持続	(7) 人材育成と技術力の強化	⑳ 組織体制の確立	目的を明確にした成果主導型の組織体制の構築	○
74	持続	(7) 人材育成と技術力の強化	⑳ 組織体制の確立	職員定数、組織体制の検討	○
75	持続	(8) 環境に配慮した事業運営	㉑ 高効率型設備等の導入	中根管理棟等の照明のＬＥＤ化の実施	○
76	持続	(8) 環境に配慮した事業運営	㉑ 高効率型設備等の導入	省エネ型設備・機器の導入促進	○
77	持続	(8) 環境に配慮した事業運営	㉒ 低公害車・低燃費自動車の導入	公用車への電気自動車、ハイブリッド車等の導入促進	○
78	強靱	(1) 水道施設の計画的な整備	① 更新基準年数の設定	使用可能年数による各設備機器の更新基準の設定	○
79	強靱	(1) 水道施設の計画的な整備	① 更新基準年数の設定	使用可能年数による管路の更新基準の設定	○
80	強靱	(1) 水道施設の計画的な整備	② レベル別修繕支弁基準の設定	状態監視保全による修繕基準の設定	○
81	強靱	(1) 水道施設の計画的な整備	③ 老朽管（配水支管）の計画的な更新	時間計画保全による計画的な更新の推進（再掲 持続：主要施策③）	○
82	強靱	(1) 水道施設の計画的な整備	④ 重要給水施設への専用給水ルートの整備	重要給水施設への耐震管による専用配水管の整備	○
83	強靱	(1) 水道施設の計画的な整備	⑤ 老朽設備の計画的な修繕・更新	予防保全による設備機器等の計画的な整備	○
84	強靱	(2) 基幹施設の耐震化	⑥ 浄水・配水施設の計画的な耐震化	配水池の耐震化	—
85	強靱	(2) 基幹施設の耐震化	⑥ 浄水・配水施設の計画的な耐震化	浄水・配水施設の耐震化	○
86	強靱	(2) 基幹施設の耐震化	⑦ 基幹管路の計画的な耐震化	導水管の耐震化	○
87	強靱	(3) 災害対策	⑧ リスク管理型の水管理	災害や事故などに伴う断水時の水配給バックアップ機能の充実	○
88	強靱	(4) 災害対策	⑧ リスク管理型の水管理	災害時などの非常事態時における水確保策の強化	○
89	強靱	(5) 災害対策	⑧ リスク管理型の水管理	漏水などによる一時的断水時の給水対応	○
90	強靱	(6) 災害対策	⑧ リスク管理型の水管理	需要と供給の水需給バランスの総合的監視	○
91	強靱	(7) 災害対策	⑨ 危機管理体制の強化	危機管理マニュアルの見直し	○
92	強靱	(8) 災害対策	⑨ 危機管理体制の強化	事故・災害時の対応力の強化	△
93	強靱	(9) 災害対策	⑨ 危機管理体制の強化	給水車等を活用した応急給水訓練の実施	○
94	強靱	(10) 災害対策	⑨ 危機管理体制の強化	問合せ対応の強化	○
95	強靱	(11) 災害対策	⑩ 事故・災害時における復旧体制の強化	応急給水設備等の整備と充実	○
96	強靱	(12) 災害対策	⑩ 事故・災害時における復旧体制の強化	応急復旧資機材の確保	○
97	強靱	(13) 災害対策	⑪ 災害時における近隣事業者等との広域連携	職員に対する災害協定に基づく協力体制の再確認	○
98	強靱	(14) 災害対策	⑪ 災害時における近隣事業者等との広域連携	協力・応援協定の拡大の検討	○
99	強靱	(15) 災害対策	⑫ 防災に関する啓発の推進	災害時の備えに対するパンフレットの作成及び啓発	○
100	強靱	(16) 災害対策	⑬ 停電への対応の強化	自家発電設備の点検整備による機能維持	○
101	強靱	(4) 渇水対策の推進	⑭ 渇水への対応策の強化	渇水情報の迅速な入手	○
102	強靱	(4) 渇水対策の推進	⑭ 渇水への対応策の強化	節水協力依頼の徹底	—